

ようこそ！

認知症地域支援体制推進
全国合同セミナーへ

認知症の本人と家族が地域でよりよく暮らし続ける
支援体制を、ともに築いていくために





このまちで暮らしてきた これからもいっしょに
すべての市区町村で、わがまちならではの、つながりと地域づくりを、一步一步

平成30年度第3回全国合同セミナー参加者概要

平成30年1月10日時点

立場	参加自治体数	参加人数
都道府県	11	13人
市区町村 (地域包括支援センター、事業者等含む)	145 * 38都道府県から	299人
厚労省 地方厚生局	-	2人
合計	-	314人

「参加者一覧」参照

* 情報交換・ネットワーキングにご活用下さい。

全国の自治体で、認知症施策の試行錯誤



課題山積

- * これからどの方向に進めばいいのか？
- * 何をどのように展開していけばいいのか？

全国合同セミナーの目的

全国の自治体が、

○認知症施策の動向やポイントを確認しつつ

○他の自治体の取組情報も参考にしながら

認知症施策を円滑に企画・運営し、

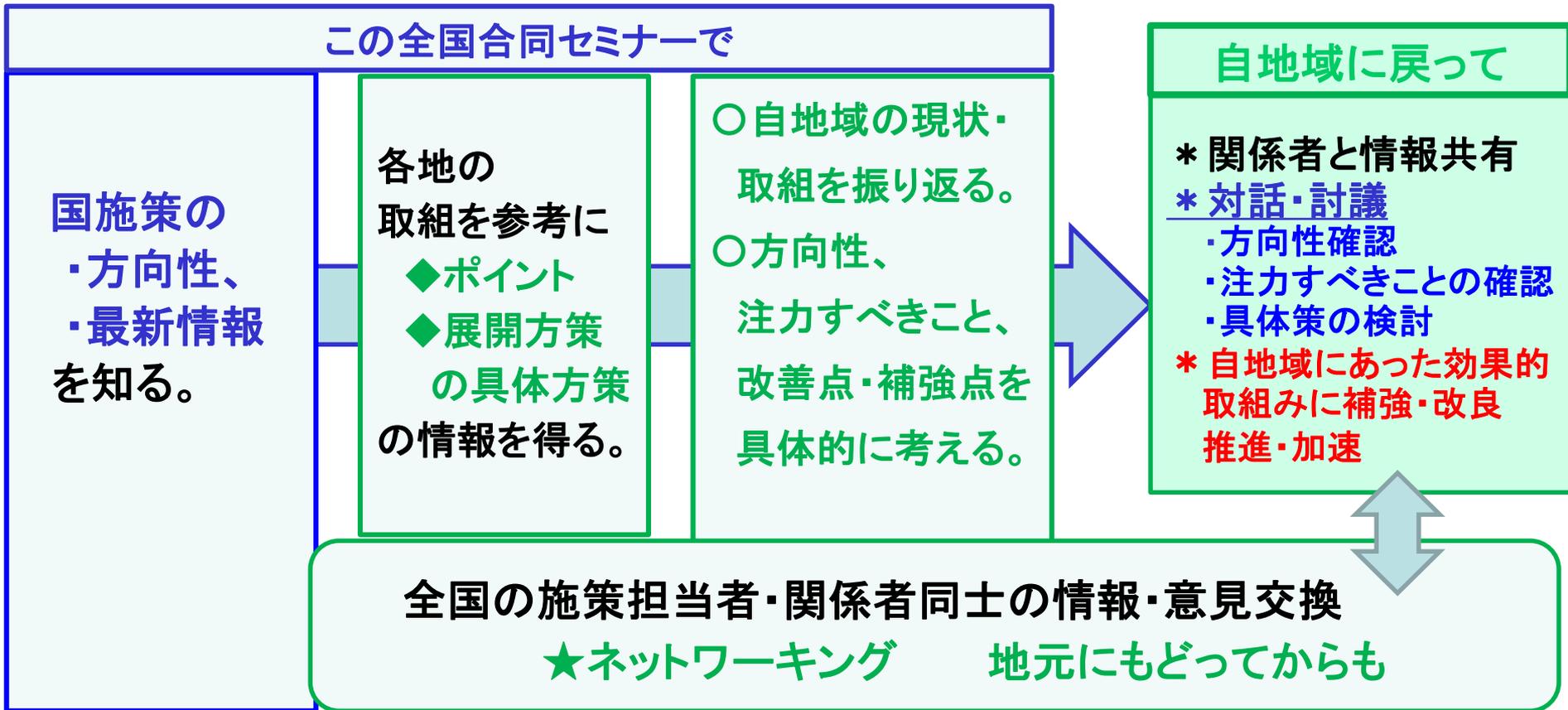
地元で暮らす認知症の人が、初期から最期まで

よりよく暮らし続けていくことを支えるための

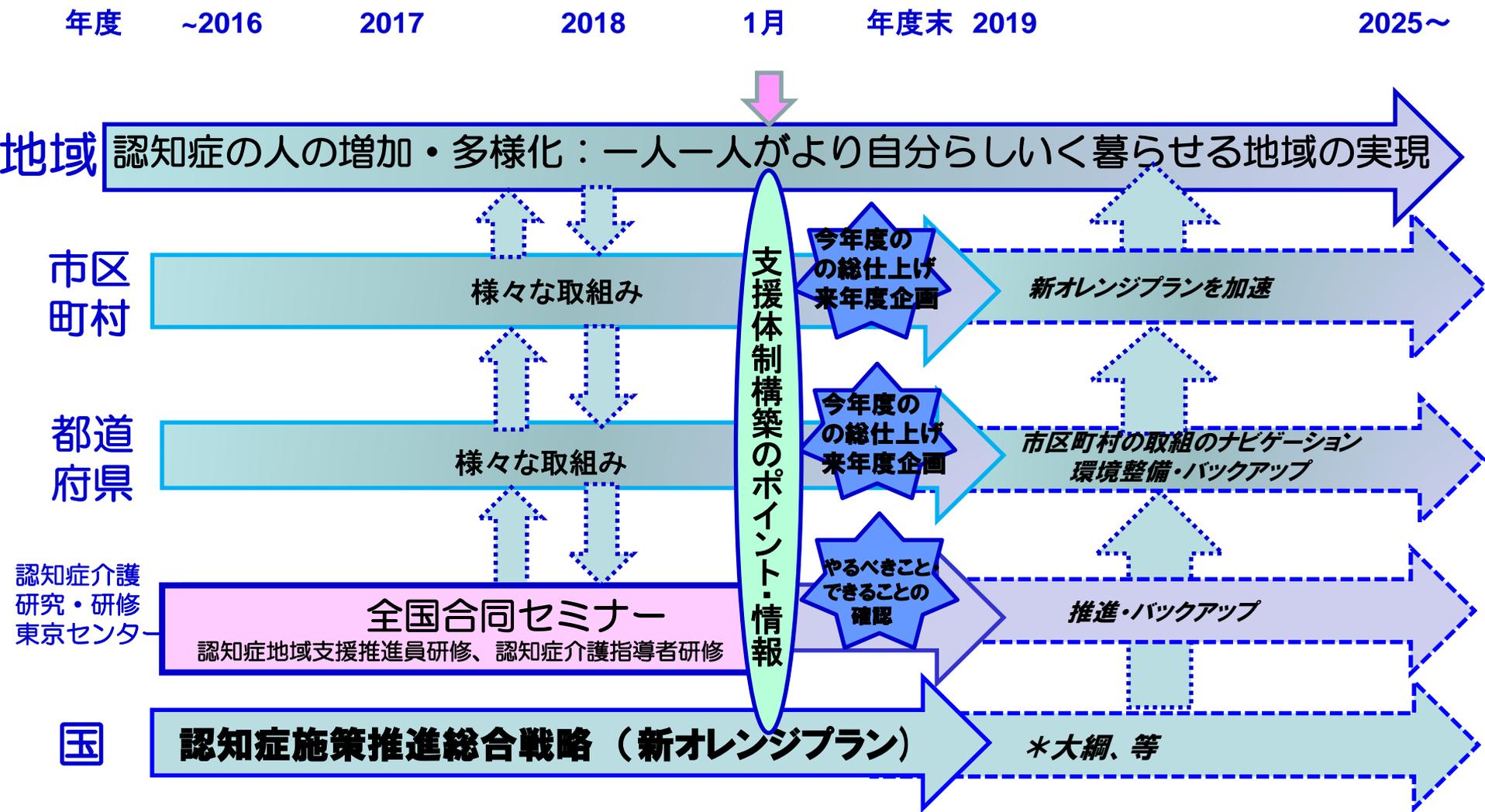
地域支援体制づくりを着実・持続発展的に進めていく

ことの促進を図る。

全国合同セミナーでの情報・気づき・つながりを 地元でフルに活かそう。



第3回（1月） 全国合同セミナーの位置づけ



*** 当事者のよりよい暮らし × 地域支援体制構築に向けて
地域 ∞ 市区町村 ∞ 都道府県 ∞ 国が連動しながら、重層的に**

今、1月は・・・年度末→来年度以降に向けた好機

3月末までの時間・活動を大切に。

1)今年度の事業・取組に関して

- ・今年度の最終段階の話し合い
- ・取組の仕上げ
- ・振り返り、成果と課題等の検討
- ・報告
- ・発信、広報
- ・(引継ぎ)

2)来年度以降の事業・取組に向けて

- ・方向性の(再)確認・合意形成
- ・焦点にすべき事業取組について検討
- ・来年度企画、仕込み

多様な人たち
との出会い、
話し合いの
チャンスが
ある



合同セミナーでの情報・気づき、つながりを、フルに活かそう